

事業評価シート（平成25年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	幹線道路整備事業		
事業担当	土木部 道路整備課		
事業種類	●ハード ○ソフト		
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'03	③〈利便性〉誰もが快適に利用できるよう、公共施設などの利便性を高める	
	'03	3 まちの活動に活力をもたらす公共交通の利便性を高める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
	目的・目標		事業の概要
交通混雑の緩和が図られるとともに、地域の住環境も向上しています。		住環境の向上と交通の円滑化のため、幹線道路を整備します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
	目標						
	実績						
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	幹線道路整備進捗率				単位	%
	説明・算定式	平成28年度までの整備累計(515m)に対する当該年度までの整備累計の率					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
	目標	17	27	37	69		
	実績	8	36	37			
成果指標②	指標名	幹線道路用地買収進捗率				単位	%
	説明・算定式	平成28年度までの用地買収累計(1,411㎡)に対する当該年度までの用地買収累計の率					
		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
	目標	22	23	53	53		
	実績	15	23	74			
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成25年度の主な取組と成果							
河内公所線、吉沢土屋線の整備を行いました。また、河内公所線、真土金目線の用地買収を行いました。							
平成25年度の検証結果	A：成果があがった						

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価	
事業分析	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	周辺地域の幹線道路を相互に連絡することになり、地域の骨格を形成する幹線道路の整備の必要性は高いと考えます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	幹線道路を整備することで交通混雑の緩和が図られ、有効性が高いと考えます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	住環境の向上と交通の円滑化のため妥当性が高いと考えます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	幹線道路と幹線道路とが連結されることにより、交通体系の効率性が高まります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		幹線道路の整備は用地買収、物件補償、工事費等相当な費用を要するため、計画的に事業を進める必要があります。		

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成23年度 決算額	平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 予算額
事業内容		工事	用地買収、補償	工事、用地買収、補償	幹線道路の整備
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	54,450
	県支出金	0	0	0	0
	起債	14,000	5,000	184,300	73,000
	その他 特財	3,635	0	0	0
	一般財源	2,260	1,440	44,989	984
事業費 (A)		19,895	6,440	229,289	128,434
執行率 (%)		82.89	73.63	100.00	
内訳	職員 (人)	0.80	0.60	1.20	0.95
	再任用 (人)	0.00	0.10	0.10	0.10
人件費 (B)		6,484	5,150	9,878	7,768
フルコスト (A+B)		26,379	11,590	239,167	136,202

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成27年度の取組方針	交通渋滞の緩和や住環境の向上のため、引き続き幹線道路整備の推進に取り組みます。
課長コメント	幹線道路を整備することにより、交通混雑の緩和を図り、地域の住環境の向上を目指します。